

その日、何を見るのか。



angela bassett



ralph fiennes



juliette lewis

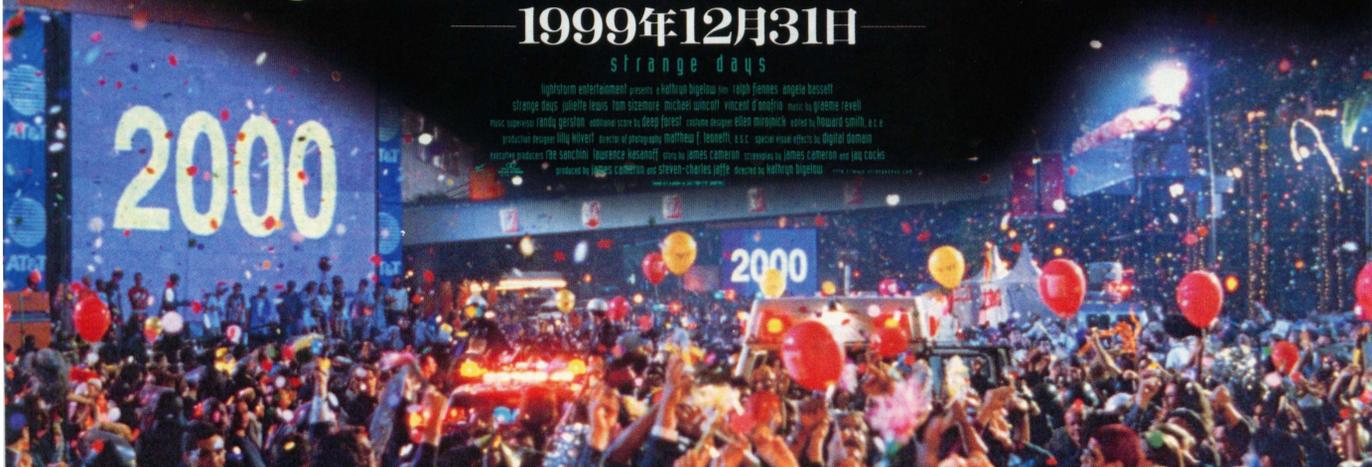
「T2」「トゥルーライズ」のジェームズ・キャメロンが贈る2000年への黙示録
アポカリプス

ストレンジ・デイズ

1999年12月31日

strange days

lightstorm entertainment presents a hallmark bigelow film ralph fiennes angela bassett
strange days juliette lewis tom szamore michael walcott vincenzo d'andrea music by greame revel
music supervisor randy gerston costume design erik minajick edited by howard smith, a.c.e.
production designer bill hives director of photography matthew j. leonetti, a.s.c. special visual effects by digital domain
executive producers tom sanichini laurence hesanoff story by james cameron screenplay by james cameron and ian cliche
produced by james cameron and steven-charles jaffe directed by hallmark bigelow



製作・脚本：ジェームズ・キャメロン/監督：キャスリン・ビグロー
レイフ・ファインズ/アンジェラ・バセット/ジュリエット・ルイス
トム・サイスモア/マイケル・ウィンコット/ウィンセント・ド・プリオ

音楽：グレアム・レヴェル ● 音楽監督：ランディ・ガーソン ● アディショナルスコア：ティム・フォレスト ● 衣装：エレン・ミロジュニク ● 編集：ハワード・スミス ● 美術：リリアン・ケルヴァート ● 撮影：マシュー・レオネット ● A.S.C.
特殊効果：デジタルドメイン ● 製作総指揮：リリー・サンチーニ ● ローレンス・カサフ ● 原案：シエーム・スキャムロン ● 脚本：シエーム・スキャムロン/スティーブン・チャールズ・ジョフィ ● 監督：キャスリン・ビグロー
1999年アメリカ映画 ● オリジナル・サウンドトラック：EPIC/SONY RECORDS ● 日本語版スクリプト・メント・ソニー・マガジンス刊 ● ライト・ストーム・エンターテインメント作品 ● 配給：日本ヘラルド映画



「T2」「トゥルーライズ」のジェームズ・キャメロンが贈る2000年への黙示録

アホカリフス

「T2」「トゥルーライズ」と観客を常に興奮させてきたジェームズ・キャメロン監督が自ら設立したライトストーム・エンターテインメントが、1999年12月31日、荒廃と混沌が支配するロサンゼルスを舞台に、欲望や裏切りと戦いながら生きる人間の愛と生き様を描くサスペンス・アクション大作。ジェームズ・キャメロンの製作・原案・脚本をもとに、「ブルースチール」「ハートブルー」のキャスリン・ビッグロー監督がパワフルに映像化。主人公でドラッグさながらの禁断のエンターテインメントディスクを闇売買し、忘れ得ぬかつての恋人への思いから予期せぬ異変に「シンドラーのリスト」「クイズ・ショウ」のレイフ・ファインズ。彼の親友であり、いつでも助けの手を差し伸べるメイスに「マルコムX」「ティナ」のアンジェラ・バセット。

そしてレニーのかつての恋人で歌手であるフェイスに「ギルバート・グレイブ」「ナチュラル・ボーン・キラーズ」と人気急上昇のジュリエット・ルイス。今回は歌も披露している。その他、ティーフ・フォレストがアディショナル・スコアを書いたりピーター・ガブリエルとのコラボレーションによるエンディング曲が話題になったりとサントラも賑やか。これらの豪華で異色な顔の組み合わせにより、物凄いスピード感を持ちながら、単なる痛快アクションとは一味も二味も違った全く新しい映像のアクション大作が誕生した。

のは何でも取り揃えている。その晩、ディスクを提供してくれるはずの女性が無残に殺される瞬間を記憶したディスクがレニーのもとに送られてきた。その女性はレニーのかつての恋人フェイス（ジュリエット・ルイス）の親友であり、



フェイスの身も危ないことを示唆していた。レニーは断ち切れない彼女への思いから、親友でありセキュリティのプロとして女手一つで息子を養い、そしてモラルの失われたこの世で唯一真摯なメイス（アンジェラ・バセット）の力を借りてロスの闇へと挑んで行く。しかしメイスの熱い思いとレニーのフェイスへの忘れ得ぬ思いが交差する中で遭遇するのは、裏切りと欲望に塗れた意外なる事実であった。彼らがそこで見たものとは。そして彼らのお互いへの熱い思いの行方は……。2000年へ向けてのカウントダウンが始まった！

1999年12月31日
その日何を見るのか——。

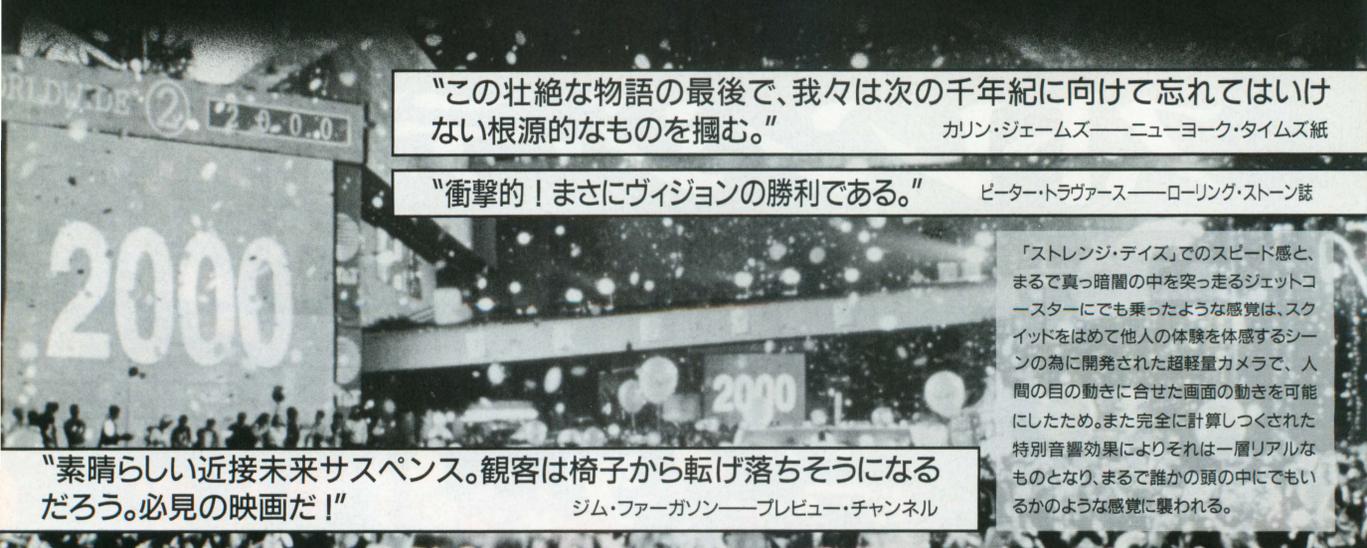
1999年12月31日。2000年へ向けてロサンゼルス街は異様なほどの狂騒に包まれている。新しい世界はやって来るのか、それともこの世界は終わってしまうのだろうか……。

レニー（レイフ・ファインズ）は、他人の体験を体感できるスクイッドと呼ばれる禁断のエンターテインメント装置のディスクを闇売買している。スリル、暴力、セックス、人々が望むも



ストレンジ・デイズ —1999年12月31日—

1995年/アメリカ映画/シネマ・スコープ/上映時間：2時間25分/ライトストーム・エンターテインメント作品/配給：日本ヘラルド映画



“この壮絶な物語の最後で、我々は次の千年紀に向けて忘れてはいけない根源的なものを掘む。”
カリン・ジェームズ——ニューヨーク・タイムズ紙

“衝撃的！まさにヴィジョンの勝利である。”
ピーター・トラヴァース——ローリング・ストーン誌

「ストレンジ・デイズ」でのスピード感と、まるで真暗闇の中を突っ走るジェットコースターにでも乗ったような感覚は、スクイッドをはめて他人の体験を体感するシーンの為に開発された超軽量カメラで、人間の目の動きに合せた画面の動きを可能にしたため。また完全に計算しつくされた特別音響効果によりそれは一層リアルなものとなり、まるで誰かの頭の中にもいるかのような感覚に襲われる。

“素晴らしい近接未来サスペンス。観客は椅子から転げ落ちそうになるだろう。必見の映画だ！”
ジム・ファーガソン——プレビュー・チャンネル

—1996年1月20日(土)—より「カウントダウン」ロードショー!

★前売鑑賞券発売中 ● 一般券1,500円 ● 学生券1,300円 ● ペア券(お2人で劇場窓口のみ)2,800円

有楽町・東宝映画街
日比谷映画
03(3591)5353